



可搬型マイクروسコープによる現地での破損原因調査

可搬型マイクروسコープにより、現地で破損原因調査を実施します。大型品も可能です。

破損原因調査における課題

大型構造物の破損調査を現地で実施する場合、従来破面観察方法はデジカメ撮影や小型マイクروسコープしかなく、孔食やビーチマークや微細な粒界割れなどの有無の調査が困難でした。

またキズの発生した大型品（プレス成形品等）を、そのままの状態（切断無し）で破損原因調査場合に、通常のマイクروسコープではテーブルに載せられないため、破損部の拡大観察が困難でした。

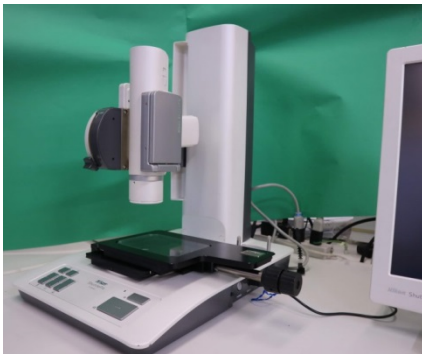
保有する可搬型マイクروسコープの特徴

当社の保有する可搬型マイクروسコープ（ニコン製、商品名シャトルピクス）は、

- ①手持ちで高倍率の撮影可能（MAX400倍）
- ②大きな凹凸があっても、深度方向の画像合成が可能（ピントの合った複数の画像を自動合成）
- ③レンズ横にLED照明があるため、薄暗い環境でも鮮明な撮影が可能

といった特徴があります。

これにより、大型構造物の現地調査や大型品の破損調査において破損部の拡大観察が容易となり、精度の高い解析が可能になりました。



ハンディカメラ部を電動スタンドに取り付け撮影



ハンディカメラ部のみでの撮影



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

☎ 0120-643-777

Copyright ©2018 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。